

平成 30 年度

大学院工学研究科

( 博士後期課程 )

名古屋工業大学・ウーロンゴン大学

国際連携情報学専攻

# 学 生 募 集 要 項

国立大学法人

名古屋工業大学

## 国際連携専攻について

### 1 海外の大学と共同して教育課程を構成する大学院（国際連携専攻）とは

国内外の複数の大学が連携して教育研究資源を最大限に活用し、一つの大学では提供できない、より高度で革新的な、あるいはより魅力的なプログラムを行うことにより、学生に質や付加価値の高い学習機会を提供し、大学、国、企業・地域が意欲ある優秀な人材を得られるようにすることを目指すものです。そのため複数の大学共同で教育課程を実施し、連名で学位を授与するものです。

### 2 本共同大学院の主な特徴

(1) 名古屋工業大学とウーロンゴン大学（オーストラリア）の連名による学位が授与されます。

なお、学位の名称は、博士（学術）となります。

(2) 名古屋工業大学とウーロンゴン大学の両大学に在籍することになりますが、両大学から研究指導を担当する教員が配置され、幅広い観点で研究を行うこととなります。

(3) 本学で1年間の研究指導を受け、次いでオーストラリアで1年間の研究指導、帰国後、最終的に本学で学位申請し、両大学で組織する学位審査委員会で合格すれば、両大学の連名による学位が授与されます。

(4) 遠隔授業システムを活用して実施する共同創造セミナーにより、一人ひとりの学生に応じた研究指導を3年間行います。

## 重要なお知らせ

1 志願者は、名古屋工業大学、ウーロンゴン大学のいずれかに出願しますが、名古屋工業大学へ出願した志願者は、名古屋工業大学において入学試験を受験することとなります。この場合、入学手続、授業料等の納付、奨学金の申請等に関して、名古屋工業大学で取り扱います。

2 本国際連携情報学専攻において、名古屋工業大学とウーロンゴン大学を併願することはできません。

3 英語能力については、IELTS の各分野で 6.0、全体として IELTS アカデミックモジュール 6.5 以上を有することが望ましい。

4 本専攻は平成 30 年 3 月新たに設置するものです。入学の時期は、ウーロンゴン大学にて選抜された場合は平成 30 年 3 月、名古屋工業大学にて選抜された場合は平成 30 年 4 月となります。今後、本募集要項の内容に変更が生じた場合には、その都度御案内します。

# 平成 30 年度名古屋工業大学大学院工学研究科(博士後期課程)

## 名古屋工業大学・ウーロンゴン大学国際連携情報学専攻

### 学生募集要項

#### 目 次

教育理念	1
アドミッション・ポリシー	1
カリキュラム・ポリシー	1
ディプロマ・ポリシー	2
1 募集専攻及び募集人員	3
2 出願資格	3
3 出願期間	4
4 出願手続	4
5 受験票の交付	6
6 障害等のある入学志願者との事前相談	6
7 受験時に来日する外国人の査証（ビザ）申請	6
8 入学者選抜方法	6
9 試験場	6
10 合格者発表及び入学手続	7
11 入学手続時に必要な経費	7
12 入試情報	7
13 指導教員等一覧（List of Intended Adviser）	9
14 入学の時期	10
15 課程の修了の認定及び学位の授与	10
16 奨学金	10
17 安全保障輸出管理について	10
18 問い合わせ先	10

## 教育理念

名古屋工業大学では、『ものづくり』『ひとづくり』『未来づくり』を理念として、将来にわたって人類の幸福や国際社会の福祉を達成する方向を示し、同時にそれに対応できる人材を育成する。』ことを教育理念としています。

本学の卒業生は一人ひとりが国際社会の中で様々な人々・分野と協働し、持続的未來社会への責任を自覚し、実践の中で革新的な学術と技術を創造する能力を有する実践的工学エリートとして活躍することが期待されます。

## アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

### 大学院博士後期課程

教育理念に従って人材を育成するため次を満たす学生を広く国内外から受け入れています。

大学院博士後期課程で学ぶ学生は修士の能力と工学の専門知識、技術革新への使命感をもち、本専攻の理念をよく理解し、情報技術の使命を果たす意欲をもつ人です。

- 1 修士課程を修了するか、あるいはこれと同等の能力をもつ人
- 2 志望する専門分野についての高度な専門知識とこれを活用して問題解決をする能力、新規で有用な研究を遂行する能力をもつ人
- 3 英語等によって学術論文を読解・叙述し、他者との専門的議論をすることのできるコミュニケーション力をもつ人
- 4 高度な情報技術を基に、国際的な舞台において新たな社会の創造を先導することに強い意欲をもつ人

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

### 大学院博士後期課程

本専攻は技術革新への使命感、倫理観等の基本的態度及び情報学分野の専門知識と研究遂行能力を前提とし、その上で超スマート社会に資する研究に取り組み、未来社会をつくりだす人材を育成します。そのため、次の3項目を基本ポリシー（カリキュラム・ポリシー）とします。

- 1 国際社会の課題を技術的側面から理解し、産業社会の将来像を展望できる能力を身につけること。

- 2 情報学分野での深い専門知識と超スマート社会実現に向けた技術に関する幅広い関心・洞察力を身につけさせること。
- 3 高い独創性と強い研究推進能力によってイノベーションを牽引する能力を身につけさせること。

## ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

### 大学院博士後期課程

本専攻を修了する学生は次の能力を修得する必要があります。

- 1 国際社会の課題を技術的側面から理解し、産業社会の将来像を展望できる能力
- 2 情報学分野での深い専門知識と超スマート社会実現に向けた技術に関する幅広い関心・洞察力
- 3 高い独創性と強い研究推進能力によってイノベーションを牽引する能力

## 平成 30 年度 名古屋工業大学大学院工学研究科(博士後期課程)

### 名古屋工業大学・ウーロンゴン大学国際連携情報学専攻 学生募集要項

名古屋工業大学大学院工学研究科(博士後期課程)名古屋工業大学・ウーロンゴン大学国際連携情報学専攻の学生のうち、名古屋工業大学で教育・研究を開始するもの1名を次のとおり募集します。

#### 1 募集専攻及び募集人員

募集専攻	募集人員	
	名古屋工業大学	ウーロンゴン大学
名古屋工業大学・ウーロンゴン大学 国際連携情報学専攻	1名	1名

#### 2 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位(学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則(昭和28年文部省令第9号)第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。)を有する者及び平成30年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び修士の学位又は専門職学位に相当する学位を平成30年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び修士の学位又は専門職学位に相当する学位を平成30年3月31日までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び修士の学位又は専門職学位に相当する学位を30年3月31日までに取得見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び修士の学位に相当する学位を平成30年3月31日までに取得見込みの者
- (6) 外国の学校、第四号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
  - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
  - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育

における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの

(8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 24 歳に達するもの

注 1：出願資格 (6) により出願する者は、11 ページの「出願資格 (6) の出願について」を参照してください。

注 2：出願資格 (7) により出願する者は、11 ページの「出願資格 (7) の出願について」を参照してください。

注 3：出願資格 (8) により出願する者は、12 ページの「出願資格 (8) の出願について」を参照してください。

### 3 出 願 期 間

平成 29 年 7 月 28 日 (金) ~8 月 1 日 (火)

出願書類等の受付時間は、平日の 9:00 から 16:00 までとします。郵送出願の場合は、書留速達郵便で**出願期間最終日の 16:00 必着**とします。

### 4 出 願 手 続

#### (1) 出願書類等の提出

入学志願者は、次の書類等を取りそろえ、所定の期日までに本学入試課に提出してください。

出願にあたっては、あらかじめ指導を希望する教員と研究内容や出願について相談してください。

**郵送出願する場合は、書留速達郵便**とし、封筒の表面には、「**大学院入学願書在中**」と朱書きしてください。

なお、海外から出願する場合は、入試課に問い合わせください。

#### (2) 出願書類等

出 願 書 類		注 意 事 項
①	入学願書・履歴書、受験票 (本学所定の用紙)	入学願書には、正面、無帽のもので、出願前 3 か月以内に撮影した縦 4cm×横 3cm の写真を全面のり付けしてください。
②	志望理由書 (本学所定の用紙)	「専攻の志望理由」及び「大学院入学後、研究したいテーマ・内容」を英語により 50 語程度で記入してください。
③	成績証明書 (大学院) (コピー不可)	出身大学院が作成した博士前期課程又は修士課程の成績証明書を提出してください。
④	成績証明書 (学部) (コピー不可)	出身大学が作成した成績証明書を提出してください。
⑤	学位取得 (見込) 証明書 (コピー不可)	出身大学院が作成したものを提出してください。
⑥	修了 (見込) 証明書 (コピー不可)	出身大学院が作成したものを提出してください。

⑦	IELTS スコア	4 (3) ①を熟読してください。
⑧	修士論文の写し	修士を持っている者は、修士論文の写しを提出してください。
⑨	研究経過の概要 (本学所定の用紙)	これまでの研究経過の概要を英語により 1,000 語程度で提出してください。
⑩	著書, 学術論文, 学術報告, 特許, 実用新案等の写し	出願資格 (7) による者のみ提出してください。
⑪	入学検定料	30,000 円 検定料は, 13 ページの「検定料の払込方法」を参照の上, 払い込んでください。 <u>※平成 30 年 3 月に本学博士前期課程を修了する見込みの者の検定料は不要です。</u>
⑫	受験票送付用封筒 (郵送出願する者のみ)	市販の封筒 (長形 3 号, 23.5cm×12cm) に, 郵便番号, 受信場所, 氏名を記入し, 郵便切手 (362 円) を貼り付けてください。
⑬	連絡用シール (本学所定の用紙)	入学願書に記載してある「受信場所」と同一の住所を記入してください。
⑭	住民票の写し	外国人は, <u>在留資格及び在留期間</u> が記載された住民票の写しを提出してください。在留資格を有しない者は, パスポートの写しを提出してください。

### (3) 注意事項

- ① IELTS 公式成績証明書 (Test Report Form) の原本, 顔写真の載っているものを提出してください (コピーは不可)。
 

また, 提出された IELTS 公式成績証明書は, 受験票に同封して返却します。
- ② 記入にあたっては, 各票とも黒のインク又はボールペン (消せる筆記具は不可) を使用し, かい書で明瞭に記入してください。記入ミスをした場合は, ミスをした箇所に二重線を引き, 余白に正しく記入してください (訂正印は不要です)。
- ③ 各証明書については, 英語以外で書かれたものは, 英語の訳文を添付してください。
- ④ 出願書類等の不備なものは, 受理しません。
- ⑤ 提出後, 出願書類等の返還及び記入事項の変更は, 認めません。
- ⑥ 既納の検定料は, 返還しません。
- ⑦ 出願書類等に虚偽の事項を記入したことが判明した場合は, 入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ⑧ 本学入学者選抜に用いた個人情報については, 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づいて, 次のとおり取り扱います。
 

ア 今後の入学者選抜に係る調査・研究のために利用します。

イ 入学者選抜及び上記アの利用に当たっては, 守秘義務等を締結した業者 (以下「業者」という。) に一部を委託する場合があります。

この場合, この業者に対して委託した業務の範囲内で, 個人情報を提供します。

ウ 入学者については, 入学者選抜に用いた出願書類等や個人情報を, 学籍などの教務関係, 修学指導関係及び学生支援関係に関する業務を行うため利用します。



## 5 受験票の交付

出願書類等を持参した者には、その場で交付します。また、郵送出願した者には、郵送します。

## 6 障害等のある入学志願者との事前相談

本学大学院に入学を志願する者で、学校教育法施行令第22条の3に定める障害のあるもの又はその他の障害があるもののうち、受験上及び修学上の配慮を必要とするものは、出願の前に、下記により相談してください。

### (1) 相談の時期及び方法

平成29年7月14日（金）までに相談する内容を文書又は電話等で連絡してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

### (2) 連絡先

10ページの「18 問い合わせ先」にお願いします。

## 7 受験時に来日する外国人の査証（ビザ）申請

受験時に来日する際、国によっては査証（ビザ）が必要になりますので、詳しくは、自国の日本大使館・領事館に確認してください。

本学を受験するために「短期滞在ビザ」を申請する場合、自己の責任で必要な条件を揃えて手続きを行ってください（本学が「招へい人」、「身元保証人」になることはできません）。

## 8 入学者選抜方法

入学者の選抜は、口述試験、面接、修士論文等の審査、成績証明書及びIELTSのスコアを総合して判定します。

### (1) 入学者選抜

個別に、次の事項について審査します。

#### ① 口述試験

提出された修士論文等（5ページ、4(2)の⑧及び⑨）について、英語でプレゼンテーションを行い、研究内容及び専門知識について質問します。

詳細については、受験票とともに送付します。

#### ② 面接

研究意欲、人物等

### (2) 選考時期

平成29年8月28日（月）

## 9 試験場

名古屋工業大学

詳細については、受験票送付の際にお知らせします。

## 10 合格者発表及び入学手続

(1) 平成 29 年 9 月 8 日 (金) 10:00 に、本学のホームページ (<http://www.nitech.ac.jp/>) 上に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。

なお、電話による問い合わせには一切応じません。

また受験票は入学手続時に必要なため、それまで必ず保管してください。

(2) 合格者 (又は代理人) は、次の日時に入学手続を行ってください。入学手続日時までに入学手続を行わない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

なお、平成 30 年 2 月上旬に送付する「入学手続要領」に基づき、郵送による入学手続を認めます。入学手続に必要な書類等は「入学手続要領」に同封します。

入学手続日時	入学手続会場
平成 30 年 3 月 23 日 (金) 9:00~16:00	名古屋工業大学

## 11 入学手続時に必要な経費

入学料	282,000 円 (予定額)
授業料	年額 535,800 円 (予定額) { 前期分 267,900 円 後期分 267,900 円

注 1: 平成 30 年 3 月に本学博士前期課程を修了した者の入学料は不要です。

2: 入学料及び授業料については、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、新入学料及び新授業料が適用されます。

3: 授業料は、希望により前期分を納入の際に後期分も併せて納入できる制度があります。

4: 授業料 (前期分) を入学手続時に納入しない場合は、平成 30 年 4 月 2 日 (月) から 4 月 27 日 (金) までに納入してください。

5: 既納の入学料及び授業料は、返還しません。ただし、授業料については、入学手続完了者が平成 30 年 3 月 31 日 (土) までに入学を辞退した場合には、納入した者の申出により当該授業料相当額は、後日返還します。

6: 入学料及び授業料については、徴収猶予又は免除する制度があります。

## 12 入 試 情 報

平成 30 年度大学院博士後期課程に係る入試情報は、次の内容を開示します。

### (1) 出願状況等

志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を本学ホームページ及び入試課窓口で提供します。

### (2) 試験成績

① 受験者本人の申請に基づき、次の事項を開示します。

総合評定 (A, B, C)

ただし、入学者選抜において、欠席により選抜の対象外となった場合は、開示されません。

② 申請方法等

ア 申請期間

平成 29 年 9 月 11 日（月） ～ 9 月 22 日（金）

イ 申請方法

入試課窓口又は郵便で、「試験成績請求願」（本学指定の用紙）に、受験票及び成績送付用封筒（市販の角形 2 号封筒に、郵便番号、住所及び氏名を明記し、280 円分の切手を貼付したもの）を添えて申請してください。

なお、郵便で申請する場合は、事前に入試課まで連絡してください。

③ 開示方法及び時期

平成 29 年 10 月上旬に申請者本人に郵送します。

### 13 指導教員等一覧 (List of Intended Adviser)

入学願書中の希望する教員名 (Intended Adviser) の記入にあたっては、以下の表を参照し、名古屋工業大学、ウーロンゴン大学、それぞれより1名ずつ記入してください。なお、ウーロンゴン大学の教員に関しては、名古屋工業大学側の教員と相談の上、決定し、記入してください

名古屋工業大学

職名	氏名	現在の主要研究テーマ
教授	伊藤 孝行 (ITO, Takayuki)	1 マルチエージェントシステムに関する研究 2 オークションと計算論的メカニズムデザインに関する研究 3 グループ意思決定支援システムに関する研究
教授	犬塚 信博 (INUZUKA, Nobuhiro)	1 機械学習とデータマイニング 2 社会ネットワーク分析 3 知能技術を応用したシステム分析
教授	加藤 昇平 (KATO, Shohei)	1 機械学習及び推論処理に関する研究 2 知能・感性ロボティクスに関する研究 3 進化的計算・人工生命に関する研究
教授	竹内 一郎 (TAKEUCHI, Ichiro)	1 統計的機械学習 2 バイオインフォマティクス 3 データマイニング
教授	和田山 正 (WADAYAMA, Tadashi)	1 符号理論, 情報理論に関する研究 2 情報セキュリティに関する研究 3 通信工学に関する研究
准教授	泉 泰介 (IZUMI, Taisuke)	1 アルゴリズム 2 ディペンダブル分散システム
准教授	打矢 隆弘 (UCHIYA, Takahiro)	1 サイバー社会を支える新しいソフトウェアの基盤の開発 2 広域分散環境を基盤とした応用知能ソフトウェアシステムの開発 3 エージェントシステムの設計方法論・開発/運用環境の構築
准教授	松井 俊浩 (MATSUI, Toshihiro)	1 マルチエージェントシステム 2 分散システム 3 協調問題解決・分散最適化

ウーロンゴン大学

職名	氏名
Professor	ZHANG Minjie
Professor	SUSILO Willy
Professor	MU Yi
Associate Professor	YAN Jun
Associate Professor	WANG Lei
Associate Professor	HAGENBUCHNER Markus
Senior Lecturer	ZHOU Luping
Senior Lecturer	WARD Koren
Lecturer	REN Fenghui

## 14 入学の時期

平成 30 年 4 月

## 15 課程の修了の認定及び学位の授与

原則として本課程に 3 年以上在学し、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、名古屋工業大学とウーロンゴン大学の連名による下記の学位が授与されます。

なお、本専攻では、連携先大学に 1 年間留学することが必須の要件となります。

学位の名称	専攻分野の名称
博士	学術

## 16 奨 学 金

日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、奨学金が貸与されます。

## 17 安全保障輸出管理について

名古屋工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

[参考] 「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」

<http://kisoku.web.nitech.ac.jp/houki/204042.htm>

経済産業省「安全保障貿易管理」

<http://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

## 18 問い合わせ先

この学生募集要項に関する照会は、E メール又は電話等で行ってください。

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町<sup>ごきそちょう</sup>  
名古屋工業大学 入試課  
電話 (052) 735 - 5083  
FAX (052) 735 - 5084  
E メール nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp

## 出願資格 (6) の出願について

- 1 出願資格 (6) に定める「大学院設置基準第 16 条の 2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」は「博士論文研究基礎力審査」に相当する審査に合格した者です。  
「博士論文研究基礎力審査」とは次の (1) 及び (2) の試験及び審査をいいます。
  - (1) 専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養についての試験
  - (2) 博士論文にかかる研究を主体的に遂行するために必要な能力についての審査
- 2 出願資格 (6) により出願する者については、名古屋工業大学大学院工学研究科において入学資格審査を行いますので、必ず 7 月 14 日 (金) 16:00 までに名古屋工業大学入試課まで連絡ください。
- 3 前記 2 の審査を受ける者は、4 ページの「4 (2) 出願書類等」に示す①, ②, ③, ⑨, ⑩に加え、次に示す書類を入試課へ提出してください。
  - ・博士論文研究基礎力審査に相当する審査に合格したことの証明
  - ・当該審査の合格の基準
  - ・当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料
  - ・当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料
  - ・入学資格審査申請書 (本学所定の用紙, 必ず英語で記入のこと)
- 4 出願資格を認められた者は、出願書類を受理しますので、検定料を 13 ページの「検定料の払込方法」のとおり払い込み、4 ページ「4 (2) 出願書類等」のうち、未提出の書類を取り揃え、出願期限までに入試課へ提出してください。
- 5 審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。

## 出願資格 (7) の出願について

- 1 出願資格 (7) に定める「文部科学大臣の指定した者」は、次の①及び③又は、②及び③の要件を満たす者です。
  - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者
  - ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学研究所等において、2 年以上研究に従事した者
  - ③ 著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許、実用新案等において修士学位論文と同等以上の価値があると認められる業績を有する者
- 2 出願資格 (7) により出願する者については、名古屋工業大学大学院工学研究科において入学資格審査を行いますので、必ず 7 月 14 日 (金) 16:00 までに名古屋工業大学入試課まで連絡ください。
- 3 前記 2 の審査を受ける者は、4 ページの「4 (2) 出願書類等」に示す①, ②, ⑨, ⑩, ⑪に加え、次に示す書類を入試課へ提出してください。
  - ・学部の成績証明書
  - ・学部の卒業証明書
  - ・入学資格審査申請書 (本学所定の用紙, 必ず英語で記入のこと)
- 4 出願資格を認められた者は、出願書類を受理しますので、検定料を 13 ページの「検定料の払込方法」のとおり払い込み、4 ページ「4 (2) 出願書類等」のうち、未提出の書類を取り揃え、出願期限までに入試課へ提出してください。
- 5 審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。

## 出願資格(8)の出願について

- 1 出願資格(8)に示す「本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに24歳に達するもの」の範囲は、①又は②の要件を満たす者です。
  - ① 大学を卒業した後、科学・技術関係分野で2年以上の業務経験を有し、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許などにおいて修士学位論文と同等以上の価値があると認められる業績を有する者
  - ② 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者及びその他教育施設の修了者等で、個別の学習歴や実務経験・国際的活動経験等の実務を有する者
- 2 出願資格(8)により出願する者については、名古屋工業大学大学院工学研究科において入学資格審査を行いますので、必ず7月14日(金)16:00までに名古屋工業大学入試課まで連絡ください。
- 3 前記により審査を受ける者は、4ページの「4(2)出願書類等」に示す①、②、⑨、⑩、⑬に加え、次に示す書類を入試課に提出してください。

**上記1-①により審査を受ける者**

  - ・学部の成績証明書
  - ・学部の卒業証明書
  - ・入学資格審査申請書(本学所定の用紙、必ず英語で記入のこと)

**上記1-②により審査を受ける者**

  - ・最終学校等の成績証明書
  - ・最終学歴の卒業証明書又は修了証明書
  - ・出身学校の学校概要・カリキュラム等教育課程が明らかになる資料
  - ・入学資格審査申請書(本学所定の用紙、必ず英語で記入のこと)
- 4 出願資格を認められた者は、出願書類を受理しますので、検定料を13ページの「検定料の払込方法」のとおり払い込み、4ページ「4(2)出願書類等」のうち、未提出の書類を取り揃え、出願期限までに入試課へ提出してください。
- 5 審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。

## 検定料の払込方法

### 1 検定料 30,000円

平成30年3月に本学博士前期課程を修了する見込みの者の検定料は不要です。

### 2 払込期間 平成29年7月10日(月)～8月1日(火)

(注) 検定料は、上記の期間内に払い込んでください。

### 3 払込方法

#### (1) 日本国内から払い込む場合

##### ① ゆうちょ銀行・郵便局の受付窓口の場合

ア この学生募集要項に綴じ込んである「払込書」を使用して、検定料の金額を間違えないように払い込んでください。

イ 「払込取扱票」の※に入学志願者(本人)の住所・氏名(漢字、フリガナ)及び電話番号を、「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書(お客さま用)」の※に入学志願者(本人)の氏名・住所等を黒のボールペン(消せる筆記用具は不可)で正確に記入してください。

ウ 「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書(お客さま用)」をゆうちょ銀行・郵便局の受付窓口から受け取る際には、必ず「日附印」を確認してください。

エ 払込手数料は、志願者本人の負担となります。

##### ② 出願に際しての留意事項

ア 検定料が払い込まれていない場合や、払込済の「振替払込受付証明書(お客さま用)」又は「収納証明書」が入学願書の所定の欄に貼り付けていない場合は出願を受理しません。

イ 出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても、払込済の検定料は返還しません。

ウ 入学願書に検定料の払込済の「振替払込受付証明書(お客さま用)」又は「収納証明書」を貼り付けた後に、入学願書の記入誤り等に気付き、やむを得ず新しい入学願書に書き替えなければならない場合でも、**検定料は二重に払い込まないでください。**その場合は、払込済の「振替払込受付証明書(お客さま用)」又は「収納証明書」を入学願書ごと切り取って、新しい入学願書の所定の欄に貼り付けてください。



(2) 日本国外から送金する場合

現地の金融機関から、下記の口座に送金してください。

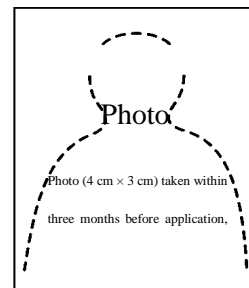
送金種類 (Type of Remittance)	電信送金 (Telegraphic Transfer)
支払方法 (Payment Instruction)	通知払 (Advice and Pay)
送金目的 (Purpose of Remittance)	入学検定料 (Screening Fee)
送金金額 (Amount)	30,000 円 (30,000 yen)
銀行名 (Bank Name)	三井住友銀行 (Sumitomo Mitsui Banking Corporation)
支店名 (Bank Name)	上前津支店 (Kamimaezu Branch)
スイフトコード (Swift code)	SMBCJPJT
口座番号 (Account Number)	普通預金 7227176 (A/C No.7227176)
受取人名 (Payee's Name)	国立大学法人名古屋工業大学 (National University Corporation Nagoya Institute of Technology)
銀行住所 (Branch Address)	〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須 3-46-24 (3-46-24, Osu, Naka-ku, Nagoya-shi, Aichi, 460-0011, Japan)
受取人住所 (Payee's Address)	〒466-8555 愛知県名古屋市中区昭和区御器所町字木市 29 番 (29, Aza, Kiichi, Gokiso-cho, Showa-ku, Nagoya-shi, Aichi, 466-8555, Japan)

(出願に際しての留意事項)

- ◇ 送金に係るすべての手数料は入学志願者（本人）の負担とし、入学検定料「30,000 円」が確実に指定口座へ入金されるよう、現地の金融機関に十分確認のうえ、手続きしてください（入金額が入学検定料に満たない場合は、出願を受理することはできませんので、注意してください）。
- ◇ 送金には時間がかかるため、必ず払込期間内に指定口座に到着するよう、早めに手続きしてください。
- ◇ 送金手続後、現地の金融機関から受け取る外国送金依頼書（銀行の受領印又はサイン入り）の写しを、出願書類に同封して提出してください。
- ◇ 過入金となった場合で、変換に係る送金手数料（入学志願者本人の負担）が、返還額を上回る場合は、返還できませんので、注意してください。

**FY 2018 Admission Application Form for the Graduate School of Engineering,  
Nagoya Institute of Technology (Doctoral Degree Program)  
Nagoya Institute of Technology and University of Wollongong  
Joint Degree Doctoral Program in Informatics**

Examinee's No.	*						
Intended adviser	Nagoya Institute of Technology			University of Wollongong			
Name in Roman block capitals	Write your name exactly same as is printed in your passport.			Nationality			
	_____, _____ (Family name) (First name) (middle name)						
Sex	Male / Female	Date of birth	[D]	[M]	[Y]		
Graduating university, etc.	University: .....						
	Department: .....						
	School/faculty: .....						
	Graduated in /						
	Graduate School (master's degree): .....						
	Major: .....						
Completed or expected to complete in /							
I am applying with the Eligibility for Application ( ). (Enter if you fall under the eligibility for application (6) or (7) or(8))							
Applicant	Present status						
	Current residence	Mailing address					
		Phone					
		Mobile phone		E-mail			
Parent, etc.	Other contact	Mailing address					
		Name					
		Phone					
Education	[M]	[Y]	~	[M]	[Y]	Elementary School	years
	[M]	[Y]	~	[M]	[Y]		years
	[M]	[Y]	~	[M]	[Y]		years
	[M]	[Y]	~	[M]	[Y]		years
	[M]	[Y]	~	[M]	[Y]		years
	[M]	[Y]	~	[M]	[Y]		years
Work experience	[M]	[Y]	~	[M]	[Y]		Period of office years
	[M]	[Y]	~	[M]	[Y]		years
	[M]	[Y]	~	[M]	[Y]		years



Student No. for master's degree program (enter if you are or have been enrolled at the Nagoya Institute of Technology)																				
Undergraduate student No. (enter if you have been enrolled at the Nagoya Institute of Technology)																				

Note 1: Do not fill in spaces marked with an asterisk (\*).  
 Note 2: Fill out the application form without omission and/or miss-entry, after carefully reading the Students Application Guidelines.  
 Note 3: Write the intended adviser selected from 13. List of Intended Adviser.  
 Note 4: Fill out the sections for the academic and professional background on the reverse side.

FY 2018 Admission Examination for  
the Graduate School of Engineering,  
Nagoya Institute of Technology  
(Doctoral Degree Program)  
Nagoya Institute of Technology and University of Wollongong  
Joint Degree Doctoral Program in Informatics

## Examination Admission Ticket

Examinee's No.	*
Name	

1. Be sure to bring this card on the day of examination.
2. Present this card whenever the supervisor asks you to do so.

## Statement of Purpose

		Examinee's No.	*
Graduating university	Graduate School of Department of Major: Graduated/expected to graduate on: / /	Name	
Please provide the following information.			
1. Subject of master's thesis (graduation work)			
2. Reason for choosing the department (Persons who have completed or are expected to complete the master's degree program of the Graduate School of Engineering, NITech are not required to fill in this section.)			
3. The subject and proposal of your research in the Graduate School of Engineering			

FY 2018 Graduate School of Engineering, Nagoya Institute of Technology Doctoral Degree Program  
Nagoya Institute of Technology and University of Wollongong Joint Degree Doctoral Program in Informatics

Note 1: Do not fill in the space marked with an asterisk (\*).

Note 2: For the "Reason for choosing the department" and the "The subject and proposal of your research in the Graduate School of Engineering," please write about 50 words in English for each.

**2018**

Graduate School of Engineering, Nagoya Institute of Technology (Doctoral Degree Program)

Nagoya Institute of Technology and University of Wollongong Joint Degree Doctoral Program in Informatics

### Evidence of Eligibility

(For applicants applying under Eligibility Requirements (6), (7) or (8))

Examinee's No.	*	Date of Application	[D] [M] [Y]
Name		Present post	
Date of birth (age)	[D] [M] [Y] ( )	Address	
Academic Career			
Date	Description		
Business Experience (including practical work experience, experience of international activities, etc.)			
Date	Description		
Academic and social activities and others			
Date	Description		

Notes

1: Do not fill in the space marked with an asterisk (\*).

2: Attach documentation certifying each record entered in the "Description" boxes.

# Summary of Your Research Progress

about 1,000 words in English

Name		Examinee's No.	*
[Lined area for writing the research progress summary]			

Note: Do not fill in the space marked with an asterisk (\*).

FY 2018 Graduate School of Engineering, Nagoya Institute of Technology (Doctoral Degree Program)

Nagoya Institute of Technology and University of Wollongong Joint Degree Doctoral Program in Informatics



## 連絡用シール

名古屋工業大学・  
ウーロンゴン大学  
国際連携情報学専攻  
(博士後期課程)

志望専攻名	名古屋工業大学・ウーロンゴン大学 国際連携情報学専攻
受験番号	※

- 1 このシールは、「合格通知書」等を送付する場合の宛名として使用しますので、入学願書に記載のある「受信場所」と同一の住所を記入してください。
- 2 このシールは台紙からはがさずにこのままの状態で提出してください。
- 3 ※を付した欄には何も記入しないでください。
- 4 このシールを提出後、転居した場合は、すみやかに届け出てください。

### ① 合格通知書送付用

(住所)	〒
(氏名)	様
	※

### ② 入学手続要領等送付用

(住所)	〒
(氏名)	様
	※

(住所)	〒
(氏名)	様
	※

- 
- ### ③ 教科書教材購入案内・大学院生活案内・部屋探し資料送付用（大学生協より送付）
- 記入は任意です。記入されなかった合格者には、この資料が送付されません。

(住所)	〒
(氏名)	様
	※

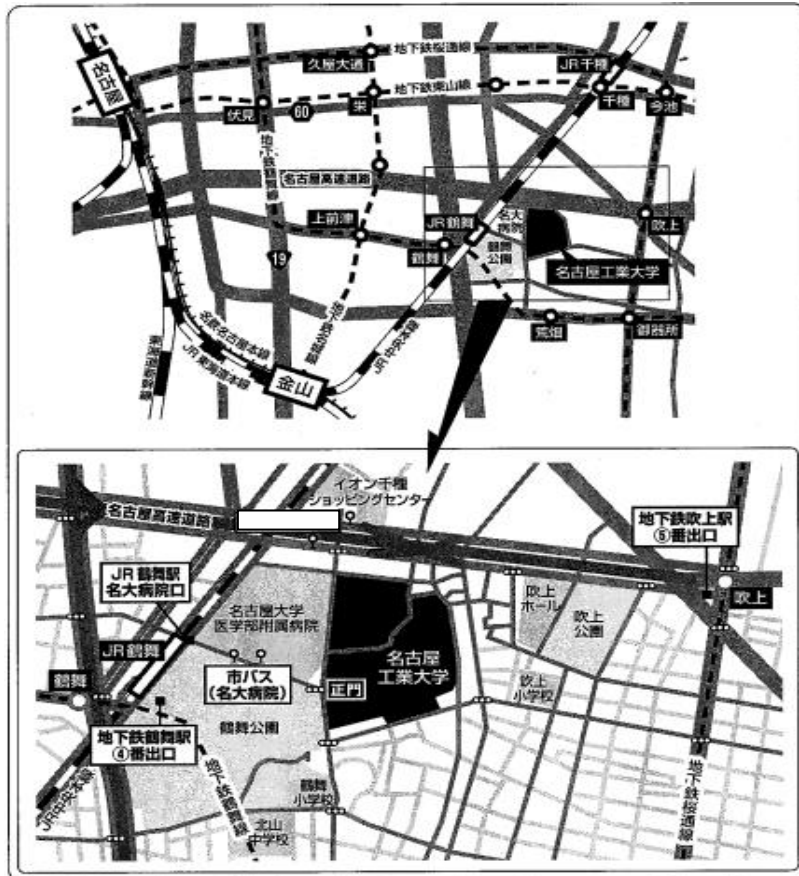


## 名古屋工業大学への交通案内

JR 東海	中央本線	鶴舞駅下車 (名大病院口から東へ約 400m)
地下鉄	鶴舞線 (上小田井 ↔ 赤池)	鶴舞駅下車 (4 番出口から東へ約 500m)
	桜通線 (中村区役所 ⇄ 徳重)	吹上駅下車 (5 番出口から西へ約 900m)
市バス	栄 18 (栄 ↔ 妙見町)	名大病院下車 (東へ約 200m)

注 1: 栄 18 は、市バスの系統番号

2: バスの運行時間は、交通渋滞により大幅に遅れる可能性があるので注意してください。



## 名古屋工業大学入試課

名古屋市昭和区御器所町 (〒466-8555)

電話 (052) 735 - 5083

ホームページアドレス <http://www.nitech.ac.jp>